

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

研究開発課題名	持続可能な薬用植物の生産基盤技術開発及び産地形成に関する研究
代表機関名	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
研究開発代表者名	河野 徳昭
全研究開発期間	令和5年度 ～ 令和9年度（予定）

1. 総合評価

- ・優れている

【評価コメント】

持続可能な薬用植物の国内生産体制整備を目的とした多岐にわたる研究項目を研究開発代表者が中心となり進捗させ、苦戦している検討項目もあるものの、概ね順調に進んでおり、評価する。特に、薬用植物の栽培拡大に向けて、種々の栽培に関わる課題解決に取り組むと共に、社会への普及活動も地域と連携して進めており、圃場レベルでの研究成果が社会実装化につながることを期待する。

生薬品目毎の自給率を踏まえると、本課題の成果が日本の薬用植物栽培化にどれだけの劇的効果をもたらすかは不確定要素が大きい。これまでに得られた研究成果を踏まえて、残りの研究開発期間における本研究課題での達成目標（アウトカム）とその波及効果を明確化して、変動要因も加味した具体的な研究方針を参画企業並びに関連の業界団体との協議も通じて、明確化する時期である。また、薬用未利用部位の活用については、栽培従事者の収益増加としての可能性はあるが、得られたデータをどのように活用し、薬機法や景品表示法を踏まえてどのような出口を目指すのか、社会実装化を踏まえた戦略的な取り組みが必要である。

以上